

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

×仲良くすることがチームワークと思うのは誤解だ！

会社は、個人の分業、そして部門ごとの分業が結集されて、事業が運営されている。したがって、部門の中の個人同士でも、全社の中の部門同士でも、チームワークが必要となる。しかし、このチームワークという言葉の間違って解釈してはいけない。お互いに助け合い、弱いところは補って和気あいあいと…、というだけがチームワークではないのである。

※ 一人一人がやるべきことを完璧にする

会社におけるチームワークというのは、「一人一人が、自分に課せられた仕事を、決められている期限までに、決められた基準で、あるいはそれ以上の水準でなし遂げること」なのである。

仲良くすることではないのである。なぜなら利益を追求する会社におけるチームワークだからである。仲良くすることは、数ある利益をあげる手段の小さなひとつに過ぎない。そこを勘違いしている人のなんと多いことか。その仕事も複数で担当しているのだから、誰かがその分業を怠れば、つまりチームワークを乱したとしたら、ことごとく利益が損なわれる。“働く”とは、“はたを楽にすること”なのである。個人の分業だけでなく、部門の分業も同じことが言える。一つの部門の仕事は、必ず次の部門の仕事で手を加えられ完成に近づく。あるいは相乗効果をあげる。逆に言えば、次の部門で役立たない、修正をしなければならぬレベルのことをすれば、チームワークを乱すことになり、はたを楽にしていないのである。

※ ひとつの相談が円滑な流れをつくる

もちろん、つまらない人間関係のトラブルでも、チームワークは簡単に崩れてしまう。コミュニケーションの悪さが、組織の士気の低下やトラブルの原因になったり、ちょっと相談するだけで解決するような問題を一人で抱え込んで、生産性が上がらなかつたりすることもある。だから、ひとつ相談する習慣をつけよう！部門を超えてひとつ相談する風土をつくろう！

1. カッコ内を埋めてください

このチームワークという言葉の間違って解釈してはいけない。()、
()は補って和気あいあいと…、というだけがチームワークではないのである。

2. 会社におけるチームワークとは何と云っていますか？

()

3. 働くとは何と云っていますか？

()

4. ひとつカッコ内を埋めてください

ひとつ相談する()をつけよう！部門を超えてひとつ相談する()をつくろう！